

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名	健康育児相談事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	健康づくり推進課	担当者名 東 亜紀
	基本事業	60	相談支援体制の充実	所属班	健康推進班	(内線) 2166
				法令根拠	母子保健法	

予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業連番 10606	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 3	コスト削減優先度評価結果 11
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成元 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
子どもたちの発達・発育の確認、母親の育児不安の解消のため定期的に相談事業を行う。
【業務の流れ】
①会場の設営を行う②受付、身体計測、保健・栄養相談等の実施③必要者には母子健康手帳の発行を行う④ミーティング及び片付けを行う⑤相談後のフォローを行う。
【主な予算費目】
賃金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 毎月2カ所で開催(ふれあい館・泉ヶ丘市民センター)年24回実施	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 毎月2カ所で開催(ふれあい館・泉ヶ丘市民センター)年24回実施
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 子育て中の母親と乳幼児	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 人 → ア 相談回数 回 イ 相談回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・子育てに自信をつけてもらうとともに不安の解消を図る。 ・母親の友達づくり	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 含志市民子育て中の母親と乳幼児 人 イ 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 子育ての不安を解消できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人 → ア 相談者数 人 イ 人
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 件 → ア 相談件数 件 イ ファミサボ利用件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	279	418	418	417	418	418	
	(A) 事業費計	千円	279	418	418	417	418	418	418	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	2	4	4	7	4	4	4	4	
延べ業務時間	時間	520	520	520	910	520	520	520	520	
(B)人件費計	千円	2,064	2,070	2,070	3,622	2,070	2,070	2,070	2,070	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,343	2,488	2,488	4,039	2,488	2,488	2,488	2,488	
活動指標	人 回	1182 24	1794 24	2000 24	1927 24	2100 24	2200 24	2200 24	2200 24	
対象指標	人	約6300	約6300	約6300	約6300	6300	6300	6300	6300	
成果指標	人	1182	1794	2000	1927	2100	2200	2200	2200	
上位成果指標	件 件	2889 2300	3590 2212	2900 2400	2468 2350	2800 2400	2700 2400	2700 2400	2700 2400	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和58年の老人保健法の施行に伴い、成人の健康相談が主として開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
しだいに社会情勢の変動により、母子の相談のニーズが高まり育児相談の割合が増加してきた。よって合併を機に「健康育児相談」のタイトルで母子保健事業として継続実施している。1回に50組前後相談に来られる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
相談者からは、「友達ができ良かった。」「心配していたことが解決してよかった。」「順調に発育していて安心した。」などの声がある。1回の相談日に多い時は50組(60~100人)程度来られるため、会場や駐車場の問題がある。

事務事業名	健康育児相談事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「子育てに自信をつけてもらう、母親の友達づくり」ができることにより結果の「子育ての不安を解消できる」ことに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 地域の母親と子どもが集う場として、必要である。また育児に関して相談できる場として育児不安解消のため必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象意図ともに現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 相談場所や駐車場の確保及び専門スタッフの配置が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 相談の場が無くなると、育児不安の増加につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似した事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の事業費で行っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の専門職と職員で行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ホームページや広報で周知をするとともに、母子手帳交付時や乳幼児健診時、また出生届時、妊婦訪問や新生児訪問の際等いろんな機会に周知を行っており、受益機会は公平と思われる。また、相談料は無料であり、公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、相談場所や駐車場の確保及び専門スタッフの配置が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今以上に回数を増やしたり、会場を広いところという変更は難しいため、専門スタッフを増やすなど、体制を考慮する必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
予算(人件費)の確保

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)